

(令和 5 年度) まつやま人口減少対策推進会議 専門部会事業提案書

代表団体名称	松山商工会議所
副代表団体名称	愛媛県法人会連合会
活動テーマ	企業の生産性アッププロジェクト
活動趣旨（本市の人口減少対策の現状、課題等）	<p>第 2 期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標③「魅力ある仕事と職場をつくる」の成果指標である「市内総生産 1.6 兆円の維持」を達成するためには、労働力人口の減少が避けられない中で、飛躍的に企業の生産性を向上させる必要がある。</p> <p>企業の生産性向上の切り口としては、IoT や AI といった先進技術の利活用による第 4 次産業革命を成し遂げることが求められる。企業や従業員に人口減少を認識してもらい、あわせて、生産性の向上を進めていく必要がある。こうした中で、コロナクライシスにより、劇的に企業の ICT 利活用が進んでおり、これをチャンスと捉えて、一層の推進を図る。</p>
活動の項目	○調査・研究活動 推進会議規約第 3 条(1)
	○普及・啓発活動 推進会議規約第 3 条(2)
活動内容（本市の実態や効果的な施策に関する調査・検証、人口減少対策推進のための取組の周知・啓発等）	<p>令和 4 年度に実施した、デジタルイノベーション実践塾で取り上げた、デジタルを経営に効果的に実装するためのデザイン経営について、セミナーなどで普及、啓発を図るとともに、企業や中心商店街において、専門家による個別の支援を行う。また、令和 5 年 10 月からスタートするインボイス制度では、企業の会計業務のデジタル化が求められることから、個別の企業に対して、専門家や IT 関連業者と連携しながら、クラウド会計の導入支援を行い、バックオフィス業務全般の省力化と効率化をサポートする取り組みを行う。</p> <p>また、企業や地域のデジタル化を進めるため、「松山地域における高速情報通信技術活用研究会」を設置し、ポスト・コロナにおける企業や地域のデジタル活用に関する現状把握や、新たな高速通信技術の研究、企業経営のみならず、中心市街地活性化や観光振興におけるデジタル技術のあり方などを研究し、企業の生産性向上と経営力強化、市場の発掘による販路開拓につなげるほか、提言等を行う。</p>

進捗状況	<p>【デザイン経営に関する個別相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 令和 5 年 7 月 1 1 日 (月) ・内 容 デザイン経営及びデジタル化の支援に関する現状把握と意見交換 ・訪問先 (株) まちづくり松山 道後商店街振興組合 三津浜商店街 水口酒造株式会社 ・訪問者 EnLinx Partners LLC DEO 尾中 泰 (株) ビタミン 高松裕美 高梨大輔 <p>【クラウド会計に関する導入支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容 インボイス制度への対応など会計を中心としたバックオフィス業務に関するシステム導入 ・相談期間 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日 ・導入件数 延べ 2 5 5 件 <p>【松山管内 ICT 利活用調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査機関 令和 5 年 8 月～1 0 月 ・調査対象 松山管内の企業 約 6, 000 社 ・調査内容 企業経営における ICT ツールの利活用状況と効果 <p>【松山地域における高速情報通信技術活用研究会】 ※令和 5 年 1 1 月頃に開催予定</p>
構成メンバー	松山商工会議所、愛媛県法人会連合会
事業期間	2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日
事業に要する経費	1, 400, 000 円 (内 自主財源 100, 000 円)
備考	

松山商工会議所 ICT 利用状況調査 調査票

回答欄の数字を○で囲むか、【 】内に該当する番号をご記入ください。

(1) 貴社の概要についてお答えください。

① 貴社の組織形態をお選びください。

1. 法人 2. 個人 3. 団体 4. その他

② 貴社の業種をお選びください。(売上割合が一番大きいものを1つ)

1. 鉱業 2. 建設業 3. 製造業 4. 情報通信業 5. 運輸業 6. 卸売業 7. 小売業
 8. 金融・保険業 9. 不動産業 10. 宿泊業 11. 飲食業 12. 医療・福祉業
 13. 教育・学習支援業 14. 団体等 複合サービス業 15. サービス業 16. その他

③ 貴社の従業員規模をお選びください。(パート・アルバイト等を含めた貴社の全雇用者数)

1. 5人未満 2. 5人以上10人未満 3. 10人以上50人未満 4. 50人以上100人未満
 5. 100人以上300人未満 6. 300人以上

(2) 貴社のICTの利活用状況についてお答えください。

① 業務に導入(利用)しているICTを全てお選びください。

また、回答群から、導入した効果を上位3位まで、期待する効果を上位3位までお選びください。

※期待する効果については、導入していないICTにも可能な範囲でご回答ください。

ICT ツール 導入した ICT に○印を↓	導入後の効果			期待する効果		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1. パソコン						
2. スマートフォン						
3. タブレット						
4. 自社のホームページ						
5. ネットでの商品販売・サービス提供						
6. 業務に関するソフトウェア						
7. クラウドシステム						
8. オンプレミス (自社運用サーバ)						
9.ハウジングサービス						
10. ホスティングサービス						
11. ロボット						
12. RPA の導入						
13. 生成 AI (ChatGPT 等) の活用						
14. [E-mail] 社内の業務連絡やスケジュール調整等						
15. [E-mail] 取引先等、社外との連絡や調整等						
16. [E-mail] 広報や予約対応などの業務利用						
17. [Facebook や LINE などの SNS] (以下同じ) 社内の業務連絡やスケジュール調整等						
18. [SNS] 取引先等、社外との連絡や調整等						
19. [SNS] 広報や予約対応などの業務利用						

【回答群】

1. 売上の拡大
2. 利益率の向上
3. 営業力・販売力の強化
4. 新規顧客・新規市場開拓
5. 顧客満足度の向上
6. 従業員の能力向上
7. 社内の情報活用の活発化
8. 製品・サービスの高付加価値化
9. 企業間連携の促進
10. 業務に必要なノウハウの見える化と共有
11. 生産性の向上
12. コスト削減
13. 意思決定の迅速化
14. リスク対応・セキュリティ強化
15. 在庫圧縮
16. 特に効果なし

② ICTを導入する際に課題となっているものを全てお選びください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 情報セキュリティのリスク対応 | 5. ICT関連のコスト負担が大きい |
| 2. 社員のICT活用能力の不足 | 6. ICT導入の効果を算定することができない |
| 3. 経営側のICT活用能力の不足 | 7. 課題は特にない |
| 4. ICT人材の不足 | 8. 導入する必要がない |

(3) 直近1年以内で特に効果があったICTサービスがあれば教えてください。

商品・サービス名	
具体的な効果	

(4) 今後のICT利活用についてお答えください。

① 新型コロナウイルスの流行を受けて、貴社の取組みについて下記の回答群からあてはまる内容を選び、該当する番号を【 】内にご記入ください。

【取組み内容】

- | | | | |
|-------------------------------|-----|--|-----|
| 1. パソコンやタブレットの導入・増強 | 【 】 | 15. 請求書・領収書の発行システムの導入 | 【 】 |
| 2. インターネット回線の導入・増強 | 【 】 | 16. 生成AI (ChatGPT等) の活用 | 【 】 |
| 3. ITを活用したテレワークの導入 | 【 】 | 17. 画像認識AIの活用 | 【 】 |
| 4. チャットツールの導入 | 【 】 | 18. その他 () | 【 】 |
| 5. WEB会議システムの導入・活用 | 【 】 | <p>【回答群】</p> <p>1. コロナ禍前から取り組んでいるが、効果があるため今後も継続・増強する(している)</p> <p>2. コロナ禍前から取り組んでいるが、効果がなくなったため、今後は減少する(している)</p> <p>3. コロナ禍前から取り組んでいるが、必要なくなったため、継続しない(しない予定)</p> <p>4. コロナ禍で新たな取組みとして始め、現在も継続している</p> <p>5. コロナ禍で新たな取組みとして始めたが、現在は継続していない(しない予定)</p> <p>6. 新たな取組みとして、検討したが断念</p> | |
| 6. 会計等の管理業務のオンライン化 | 【 】 | | |
| 7. 商品・サービス提供のオンライン化 | 【 】 | | |
| 8. 営業活動のオンライン化 | 【 】 | | |
| 9. 仕入等の取引のオンライン化 | 【 】 | | |
| 10. BYODの導入
(個人の情報端末の業務利用) | 【 】 | | |
| 11. ICTに関する人材の採用・確保 | 【 】 | | |
| 12. ICTに関するコンサルタントの活用 | 【 】 | | |
| 13. 社内セキュリティシステムの導入・増強 | 【 】 | | |
| 14. RPAなど自動化システムの導入 | 【 】 | | |

①-2 上記の【取組み内容】の中で、貴社において、今後、導入や増強が必要なICTについて、上位3つをお選びいただき、導入の難しさについて以下の数値からお選びください。

導入の難しさ 1: 簡単 2: 比較的簡単 3: 普通 4: 難しい 5: かなり難しい

1位 _____ 難しさ _____ 2位 _____ 難しさ _____ 3位 _____ 難しさ _____

ご回答いただいた事業所を確認するため、下記にご記入ください。事業所名を公表することはありません。

事業所名		所在地	
記入者名		メールアドレス	

～ “ご協力ありがとうございました” ～ 松山商工会議所 (FAX: 947-3126)